



馬鈴しょの病害虫防除について

今年の天候は、気温が平年よりも高く推移し、小雨で経過しています。疫病が直ちに発生する条件ではありませんが、予防的な防除は必要になります。防風林ぎわなど、風のこもる場所では高湿度となるため、馬鈴しょ疫病の発生に注意が必要です。またアブラムシの多発生も注意が必要です。

FLABS による疫病発生予測では、今金町（露地作型、萌芽期5月22日）の疫病感染好感度指数は6月9日現在で6となっており、初発は6月26日頃と予測されています。疫病感染好感度指数は21で危険期到達日となります。

※ 6月6日現在道南農試（北斗市）の予察ほ場で馬鈴しょの疫病初発が確認されています。土地条件や萌芽日によっては、予測日より早く発病する可能性があるため、ほ場をよく観察し、防除が遅れないようにしてください。

《疫病》

- ・ 6月上中旬から7～10日間隔の予防散布を基本とします。
- ・ 疫病の発生がみられた場合、防除間隔を短縮し、治療効果のある薬剤を使用してください。
- ・ 耐性菌の発生を防ぐため、同一成分の薬剤による防除を避けましょう。

薬剤名	予防/治療	使用濃度	使用回数	使用日数
グリーンペンコゼブ水和剤	予	400～600倍	10回	7日前
ゾーベックエニケード	予・治	5000倍	2回	7日前
リライアブルフロアブル	予・治	800～1000倍	3回	7日前
プロポーズ顆粒水和剤	予・治	750～1000倍	5回	7日前
フロンサイドSC	予	1000～2000倍	4回	7日前
レーバスフロアブル	予・治	1500～2000倍	2回	7日前
ホライズンドライフロアブル	予・治	1000～2500倍	4回	14日前

表1 馬鈴しょ疫病に効果のある薬剤一覧

《アブラムシ》

- ・ 発生時期やアブラムシの種類に応じて薬剤を選択しましょう。
- ・ 特に種子馬鈴しょほ場は、周辺雑草（クローバ、ヨモギ等）の除草に努めてください。

表2 アブラムシの種類と有効な薬剤一覧

薬剤名	浸透移行	使用濃度	使用回数	使用日数	アブラムシの種類		
					ジャガイモヒゲナガ	モモアカ	ワタ
ダズバン乳剤40	○	1500倍	2回	7日前	◎	◎	○
ベジホン乳剤	○	1000～2000倍	2回	30日前	◎	◎	○
モスピランSL液剤	○	2000～6000倍	3回	7日前	○	◎	◎
ダントツEXフロアブル	○	5000倍	3回	7日前	○	◎	◎
ピレスコ顆粒水和剤	○	5000～10000倍	3回	7日前	◎	◎	◎

土壌病害の拡散防止！機械・長靴の洗浄励行！